



# 足立区長定例記者会見

平成22年9月14日(火) 午後2時00分～  
足立区役所 南館8階 特別応接室

## 《 次 第 》

- 1 高齢者問題の対応について
- 2 ビューティフル・ウィンドウズ運動 足立区総ぐるみで動きます …… 1
- 3 幼児教育の充実・子どもたちの学びを応援  
たくましく生き抜く力を育む 足立の子ども施策 …… 3
- 4 待っているだけでは「いのち」は救えない  
気づく つながる いのちを守る ころろといのちの相談支援 …… 6
- 5 質 疑

【担当】政策経営部 報道広報課 03(3880)5816

「美しいまち」は「安全なまち」  
ビューティフル・ウィンドウズ運動展開中 足立区  



## ビューティフル・ウィンドウズ運動 足立区総ぐるみで動きます

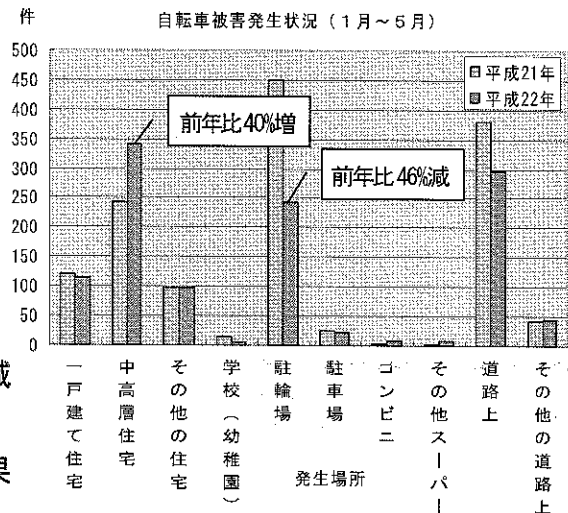
### 1 自転車に鍵を！できることから始めよう

#### (1) 犯罪認知件数は増加傾向

- 7月末犯罪認知件数5,818件 昨年同期と比較すると8%減  
一方で、同年前月(6月)との比較では11%増 → 増加傾向
- 犯罪認知件数の3割は「自転車盗難」が占めている

#### (2) 自転車被害の発生状況は

- 盗難被害者の約6割が無施錠
- 集合住宅で増加
  - ・ 4階建以上の集合住宅が3割占める
  - ・ 昨年同期(5月)比で40%増
- 駅前は効果のきざし
  - ・ 駐輪場は昨年同期(5月)比で46%減
  - ・ 駅前キーパーによる放置自転車対策、区営・民営駐輪場の2時間無料の成果



## ワースト1脱却をみんなの手で！ 「自転車盗難」を1件でも減らすために…

#### 戦略的な対策地域の拡大

- ・ 駅前に加え「集合住宅」対策を強化



10月20日の「区民防犯の日」を中心に、集合住宅24箇所で開催！自転車の鍵かけなど、注意喚起を促す看板(1,000枚)設置、チラシの配布

#### 自転車盗難に対する意識啓発

- ・ 啓発用プレートを作成し、防犯ボランティア、区内在住職員、庁有自転車の前カゴに取付
- ・ 広報紙(9/25号)緊急特集！施錠の必要性・盗難されにくい鍵の種類など周知
- ・ ビューティフル・ウィンドウズ運動のCMによる啓発

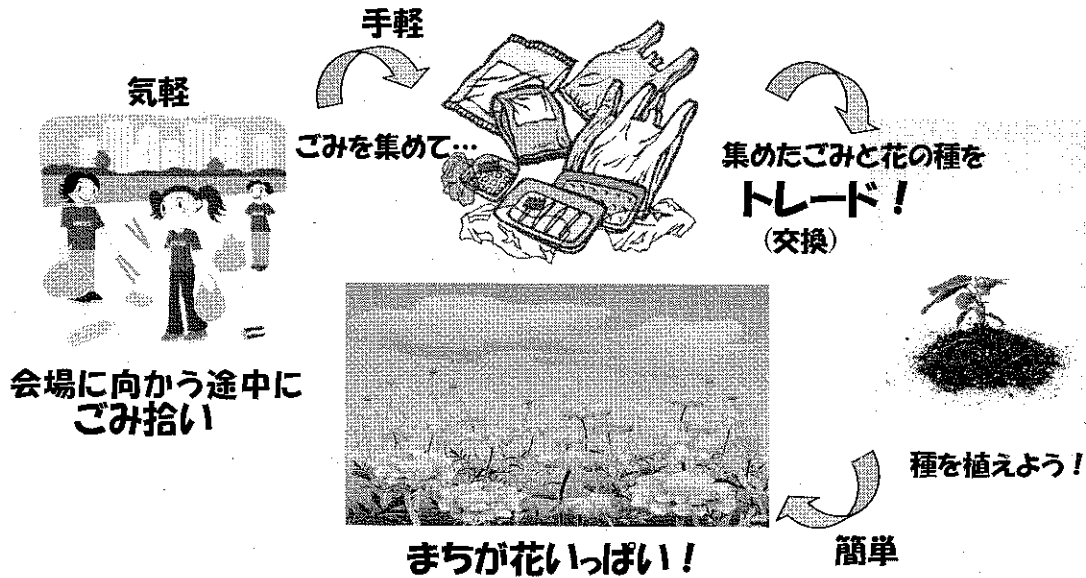
【問合せ先】総務部 総務課長 登川 俊彦 電話 (3880) 5821

## 2 気軽・手軽・簡単に美化活動！秋の美化統一キャンペーン

10月、11月の2ヵ月間を「美化強化期間」とし、足立区総ぐるみで秋の統一美化キャンペーンを実施します。

### (1) ごみとお花をトレード！足立区内が花いっぱい

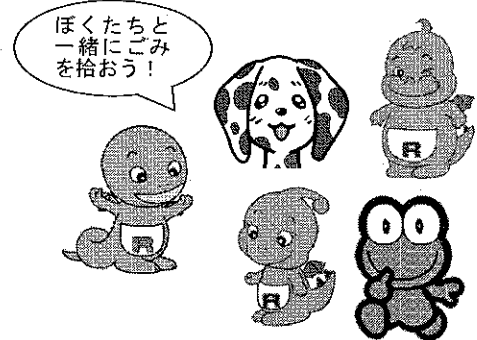
- キーワードは「気軽・手軽・簡単」イベントついでに楽しく参加
- 地域行事にクリーン活動をプラス、参加途中で拾ったごみを花の種とトレード
- 町会・自治会、小中学校、警察・消防署など、参加延べ人数約42,000人



10月23日(土) コアイベント 竹の塚を会場におもしろごみ拾い

- スポーツGOMI拾い(日本スポーツGOMI拾い連盟公認競技)  
竹の塚地域の方々がスポーツ感覚で清掃活動

- ゆるキャラごみ拾い  
足立区のキャラクター集合!  
チャップン、エラビー、環境キャラクターの  
ミリー・ドリー・リリーと一緒にごみ拾い



【問合せ先】区民部 区民課長 鈴木 伝一 電話 (3880) 5855

「美しいまち」は「安全なまち」

ビューティフル・ウィンドウズ運動展開中 足立区





## 幼児教育の充実・子どもたちの学びを応援 たくましく生き抜く力を育む 足立の子ども施策

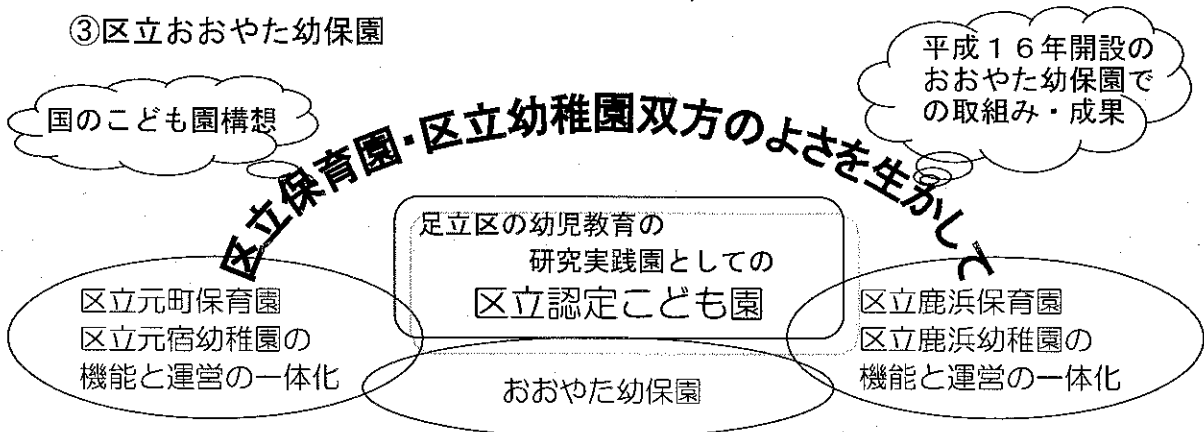
### 1 教育・保育の新しい選択肢 区立認定こども園 国に先駆けスタート

足立区では、国の「(仮称)こども園」構想に先駆け、平成24年4月に区立幼稚園と区立保育園を統合して区立認定こども園を開設し、保育園児と幼稚園児がともに「幼児教育」を受けられる仕組みづくりの検討を進めています。

#### (1) 区立認定こども園へ移行する園

- ①区立元宿幼稚園と区立元町保育園
- ②区立鹿浜幼稚園と区立鹿浜保育園
- ③区立おおやた幼保園

→ 平成24年4月開設



#### (2) 区立認定こども園の役割

幼児教育から小学校教育への滑らかな移行や幼保連携による幼児教育の充実、保育ニーズに応じた保育時間の確保、乳幼児期の生活を通して学習につながる基礎・基本態度を育成するほか、園ごとの研究テーマに取り組み、先駆的なモデル園として、他の幼稚園や保育園にその成果を発信していきます。

- テーマ例
- 元宿幼稚園と元町保育園：大学との連携による新たなプログラムの開発
  - 鹿浜幼稚園と鹿浜保育園：北鹿浜小学校との連携交流の深化による接続期プログラムの開発
  - おおやた幼保園：1歳から就学前までの一貫した保育・教育プログラムの開発

足立区の幼児教育の核とし、区全体の幼児教育の充実を図っていく

【問合せ先】子ども家庭部 子ども家庭課長 市川 保夫 電話(3880)5017

# 足立区立認定こども園の概要

## 1. 保育時間・保育期間

1～3歳児の保育	月～土・長期休業 午前7時30分～午後6時30分
4・5歳児の長時間保育	※上記時間内で、保護者の保育を必要とする状況(勤務時間・通勤時間等)に応じて個々に決定します。
4・5歳児の短時間保育	月～金 午前9時～午後2時(区立学校に準じて、土曜・長期休業を除く) ※上記保育時間に加え、預かり保育(午後2時～午後5時)を実施します。 預かり保育料が別途必要になります。

## 2. 入園・保育料

1～3歳児	認可保育園基本保育料に準じる。	
4・5歳児	長時間保育	認可保育園基本保育料に準じる。 ※教材費が別途かかります。
	短時間保育	①保育料 ②給食費 ※教材費が別途かかります。

※4・5歳児の入園時には、入園料、個人持ちの保育用品購入のための費用が別途必要となります。

## 3. 園児定員(予定)

	4歳児	5歳児
①元宿幼稚園と元町保育園	25名×2クラス	25名×2クラス
②鹿浜幼稚園と鹿浜保育園	25名×2クラス	25名×2クラス
③おおやた幼保園	32名	33名



## 4. 使用する園舎

	1～3歳児	4・5歳児
①元宿幼稚園と元町保育園	<b>保育園舎</b>	<b>幼稚園舎</b>
②鹿浜幼稚園と鹿浜保育園	ゆったりとした環境のもとで、子どもを育てていきます。	複数クラス、就学を意識した保育の充実を図っていきます。
③おおやた幼保園	異年齢交流を大切にし、地域とのかかわりを更に深めていきます。	
	<b>現園舎</b>	
	これまでの研究実践園としての取り組みを生かし、更なる保育の充実に努めていきます。	

## 5. 給食の提供

全園児に給食を提供します。費用は保育料に含まれています。

※元宿幼稚園と鹿浜幼稚園の施設改修を行い、調理室を設けます。



## 2 学び・体験・交流活動を支援 足立区子ども元気基金

子どもたちの「たくましく生き抜く力」につなげていくためには、社会性や豊かな人間性を育むことが不可欠です。足立区では、「学び」「体験・交流」活動をさらに広げ、支援するため、「足立区子ども元気基金\*」を設置し、学校や子ども、教員からアイデアを募ります。\*活用期間は平成23年度からの3年間 積立額300,180千円

### ＜これまでの先進的な取組み＞

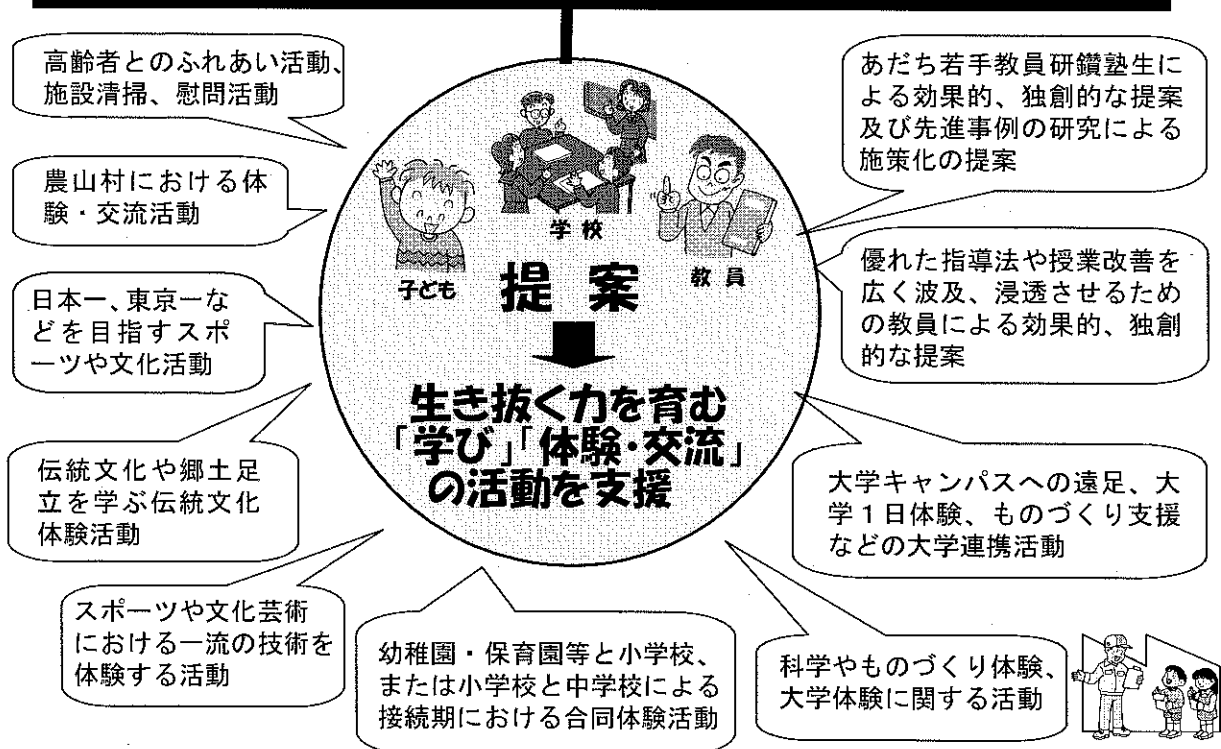
- ★民間の力を活用した「生きた授業」...理科実験体験プログラム、学習塾講師による夏期講習など。
- ★区内中学生全員が、魚沼自然教室(米作りの農業体験)に参加。魚沼の米を使った「ご当地・おにぎり対決」など各校独自の取組みにより、体験型食育も。
- ★授業以外でも、数々の先進的な取組み...百人一首大会の開催、日本将棋連盟と連携し、放課後子ども教室で「子ども将棋教室」開催など。



### ＜10月から提案募集スタート＞

## 足立区子ども元気基金

～元気に育て！足立の子ども！～



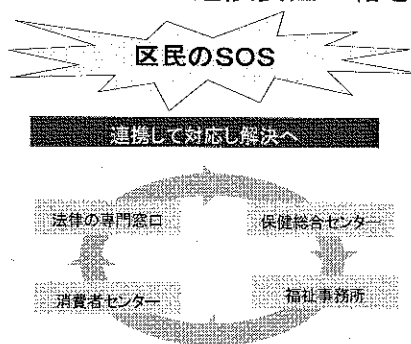
【問合せ先】 学校教育部 教育政策課 石居 聡 電話 (3880) 5961

**待っているだけでは「いのち」は救えない  
気づく つながる いのちを守る ところといのちの相談支援**

**1 足立区のめざす都市型対策モデル**

自殺要因は、多重債務、失業、健康問題など平均して4つの危険要因が絡む

↓  
自殺要因の連鎖を断ち切るため、区の職員が各窓口でSOSを受け止め(気づき)、問題に応じた関係機関と連携して(つなげて)問題解決を図ります(いのちを守る)。



**2 足立区が抱える現状**

- (1) 過去12年間(平成10年~12年間)の自殺者数は、1,950人
- (2) 平成21年の自殺者数は、168人(23区で例年上位)
- (3) 警察庁の平成21年自殺実態分析による自殺者・自殺率の高いグループ
  - ①無職者(男性の30代を中心とした20歳代~40歳代)
  - ②60歳以降の男女
  - ③自営業・家族従業員の50代男性

**3 生きる支援 4つの柱**



(1) 当事者に対する支援策

- 雇用・生活・ところと法律の出張総合相談会
  - 日時：平成22年9月16日(木)10時~16時30分(最終受付16時まで)
  - 会場：江北地域学習センター
  - 日時：平成22年11月18日(木)10時~16時30分(最終受付16時まで)
  - 会場：興本地域学習センター
- 若年者(35歳)健診(「眠れていますか」の問診と健康教育・個別指導)
- 自死遺族の会(毎月1回実施)

(2) 気づきのための人材育成

- ゲートキーパー研修
  - 日時：平成22年10月13日(水)13時30分~
  - 会場：足立区庁舎ホール
  - 対象：民生・児童委員、健康づくり推進員、医療機関職員、介護事業職員、NPO職員、関係機関職員等

### (3) 区民への啓発・周知

- 啓発CM（30秒）、映像番組（約10分）制作と放映（HP、ケーブルTV等）



- シンポジウム（悩める30代、悩めぬ30代）

日時：平成22年11月6日（土）13時30分～16時30分

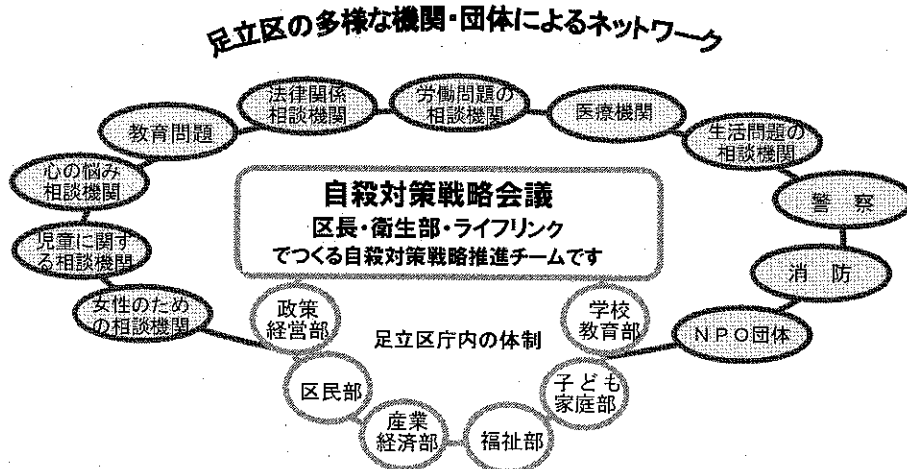
会場：シアター1010（北千住駅西口マルイ11階）

登壇者：平野啓一郎（作家）、江川紹子（ジャーナリスト）、清水康之（NPO法人ライフリンク代表）

- リーフレット配布（30代を中心とした男性が立ち寄りやすいコンビニ・駅等）

### (4) 関連団体とのネットワークの強化

- 自殺対策戦略会議（随時）
- こころといのちの相談支援ネットワーク（官民協働のネットワーク）約30の団体（平成23年1月～2月頃に実施予定）



## 4 これまでの成果

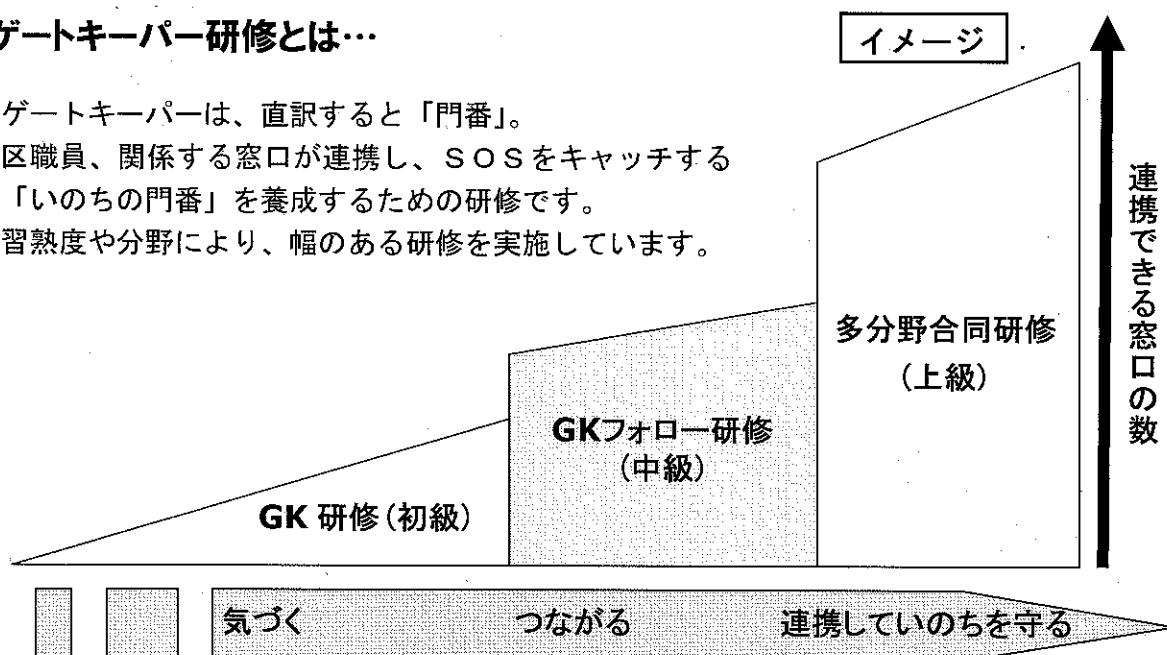
- 21年度の相談会（12月こころと法律の相談会、3月雇用・生活・こころと法律の相談会） 計14日間 240名の相談者
- ゲートキーパー研修修了者 約1,500名（職員は1,200名→全体の1/3）
- 若年者健診（22年6月30日から8月末までの実施分）  
受診者377名中 9名の要医療、要地区担当保健師フォロー者

【問合せ先】 衛生部 保健予防課長 井元 浩平 電話（3880）5350



## ゲートキーパー研修とは…

ゲートキーパーは、直訳すると「門番」。  
 区職員、関係する窓口が連携し、SOSをキャッチする  
 「いのちの門番」を養成するための研修です。  
 習熟度や分野により、幅のある研修を実施しています。



## ゲートキーパー研修 実施計画

～ 人の広がりと内容の厚みを目指します ～

	ゲートキーパー研修 (初級)	ゲートキーパー フォロー研修 (中級)	多分野合同研修 (ゲートキーパー 上級)	
内 容	「まさか」から「もしや」へ 自殺への偏見をとり、 自殺のサインに気づけるようにする研修	気づいたら「つなぐ」 自殺のサインに気づいたら「受けとめ→傾聴→つなぐ」ことができるようにする研修	より「適切な窓口につなぐ」知識 自殺のサインに気づいたら連携していのちを守ることができるようにする研修	
実施形態	集団講義	ロールプレイ	低所得や多重債務、若者の就労など、多分野合同による講義	
対 象 者	民生・児童委員、健康づくり推進員、医療機関職員、介護事業職員、NPO職員、関係機関職員等			
一回定員	300～400人	50人	150人	
実績	平成20年度	職員2回 118名	職員1回 50名	—
	平成21年度	職員1回 352名 区民1回 250名 小グループ 30名	職員1回 24名	—
	平成22年度	職員2回 667名		職員・関係機関 1回 109名
平成22年度 予 定	区民・関係機関 1回 400名 小グループ 青色申告会 税理士会 徴収嘱託員	職員・関係機関 1回 50名	職員・関係機関 1回 150名	